



# わら布団を使おう

麻生地区農業改良普及所

疲れを直すためには、十分に睡眠をとることが最も自然でよい方法ですが、私達の家庭では、そのために必要な寝具が用意されているだろうか？ 今日の疲れを明日まで持ち越さないように、一寸した工夫で今までより、ゆっくり睡眠がとれる方法を考えてみたい。

わら布団は冬は暖かく夏はござを敷いて寝れば涼しく寝心地のよいものです。疲労回復のためには最も適しています。また家族一人一人が一つずつ寝具を持つためにも、わら布団を組合せれば経済的です。

## わらぶとんの作り方

### ○材料

布地 90cm 幅で506cm  
ひも 幅2cm} の布のひも 12本  
長25cm}  
わら 稲わらのはかま よくうつた  
もの23kg  
稲わらの芯5kg

### ○用具

裁縫用具 さし (一図)

### ○準備

稲わらをよく乾燥させ、はかまを打つておく。

### ○仕事の手順

用布を二図のように裁つ

### ○縫い方

①二図のA B Cとも三図の(イ)(ロ)を合せて、縫いわら入れ口を50cm 縫い残し縫いどまりをしつかりとめ、裁ち目は二つ折にして縫つておく。

②三図の(ハ)(ニ)(ホ)の線をつまんで3mmくらい入つた所を縫つておく。

③七図の位置にまち布の表側にひもをつける。

④脇へまちをつける。この時わら入れ口が内側になるようにする。

以上縫い方は、布を表返ししなくてよいように縫代の裁ち目は裏へ折り上布とまち布を中裏に合せて待針をうち表から縫う。

縫代がミミの場合は折らずにそのまま縫つてよい。

### ○わらの入れ方

1 芯わらを元の方と穂先を半分ずつ重なるようにして直徑5cm位にまとめて中心をわらで結ぶ

2 四図の(イ)(ロ)の所へまとめた芯わらを入れる。

3 はかまのわらを足で押しこみ乍らきつちりつめ、外側からたたいた

り、足でふんだりして平に入れて行く。

4 半分ほどまで入れたらまるめて直徑3cm位になる量の芯わらを五図のようにさしにあてて四図の(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)の部分へ入れる。

5 再びはかまのわらを入れ、わら口まで入れたら四図の(ト)(チ)へ芯わらを入れる。

6 わら入れ口をとじつける。

7 わらぶとん用のとじ針か、たたみ用の針があるときは麻糸で角の所を六図のようにとじる。また残り布を長さ6cm 幅10cm に切り七図のように30ヶ所作り七図の位置に上下にあててとじる(ミシン縫い一人で仕上がる場合)

### ○カギになる点

縫いどまりをしつかりとめ裁目は二つ折にして縫つておく(わらを入れる時ほつてしまうので)

### ○備考

1 布地は厚地で目のつんだものを使わないと、細かいわらがこぼれることがある。

2 四図の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(ト)へ入れる芯わらは形を整えるために入れるので入れなくてもよい。

3 芯わらを(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)へ入るとき、さしを使わずに芯わらの丈を二つ折にして三回位に入れてもよいが平に入れられる。

4 内部へ入れるわらは、はかまばかりでなく芯わらをたたいて直徑5cm位にまとめて入れてもよい。

5 子供用には数をへらして使う。

6 脇のまちへつけたひもは尾錠でとめるようにしてもよい。



御承知のとおり取引や証明に使用する併用目盛計量器は、いよいよ昭和三十六年十二月三十日限りで、使用禁止となりますので、次のことをよく守り、明年一月一日から支障なく円滑に移行できる態勢を整えて、違反者のないよう御協力を願います。

記

一、もつともよい方法は新らしいものと取替えること。  
二、それが出来ないとときは、「はかり」の製造、修理事業者または販売事業者に依頼して、目盛さおや、目盛板を取替えること。  
三、止むを得ないときは業者に依頼して、メートルを取替えること。

11月 11、12、13日

## 麻生町農業商工祭 ひらかる

写真は同時に開かれた菊の展示会



いずれにしても今年中に切替えなければ明年一月から違法

するよう願います。  
修理して、本年中には全部メートル表目盛だけの計量器に格となりますが、できるだけ早い機会に一台ずつでも計画的に買い替えるか、または

ツ反と BCG

## 生後三ヶ月から 小学校入学前までの児童

結核患者には無自覺性といつて、健康人となんら変らない元気な人々がたくさんいて、私どもは、いつどこで感染するかわかりません。

この結核を予防するために日本人は全員、毎年一回は健診を受けるようになつてあります。

麻生町では、さきに大人を対象にレントゲン検査を行つたのですが、今度は生後三ヶ月から小学校入学前までの幼兒(昭30、4、2～昭36、7、31生)を対象に結核の予防接種(BCG)を行いますから、受診票と母子手帳を持って下さい。

便利な日時、場所をご利用ください。

ツ 反			B C G		
月日	時間	場 所	月日	時間	場 所
11.14	後1～3	小高分館	11.16	後1～3	小高分館
20	〃	大和出張所	22	〃	大和出張所
27	〃	行方分館	29	〃	行方分館
28	〃	太田小図書室	30	〃	太田小図書室
12.6	〃	麻生公民館	12.8	〃	麻生公民館

私は草刈り村のお師匠さんへ縫い物をついたよし子さんから「私は同じ農家に生れチヨコ／＼ありました。同じ言葉に、私はどきんとつてきました。学校時代から、学校時代

で、田植、稻刈、畑仕事とほんとど同じ家族のように暮しました。

この時芯とはかまのわらは半々にならぬ、ゆい

で、田植、稻刈、畑仕事とほんとど同じ家族のように暮しました。

この時芯とはかまのわらは半々にならぬ、ゆい